



## 長門湯本温泉マスタープラン最終報告会

### 地域一体となつて、再生に向けた取り組みを

長門湯本温泉街の再生に向け、市が星野リゾートに委託した「長門湯本温泉マスタープラン」の策定にかかる最終報告会が6月23日(木)、長門湯本温泉で行われました。

地元住民や旅館関係者など約100人が参加した会場で、星野リゾートの星野佳路代表は、長門湯本温泉が全国人気

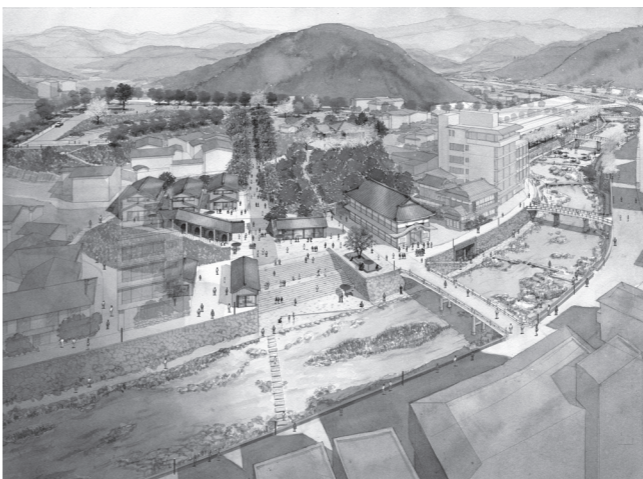
温泉地ランキングで10位以内になることを目標に、「外湯」「食べ歩き」「文化体験」などの拠点整備を行い、回遊性を高めていく計画を発表。配置図やイラストを提示して説明を行った後、旅行会社へのインタビューから得たアドバイ

するものを決める」「通過する観光地にならないための工夫を」「地域が一体となって活性化に取り組み、温泉街に美しさや統一感を」といった提案が行われました。

また、実施にあたり期待するスピード感として、「平成31年までに温泉巡りができる環境づくりや駐車場・遊歩道



▲全国人気温泉地ランキングで10位以内を目指す計画



▲提案されたマスタープランの全体図



▲竹林や明かりの演出で異空間へ誘う



▲雁木広場でたたずむ空間を演出

## 「日置すいか」目慣らし会

### 大玉で甘みが強いのが特徴

6月24日(金)、日置野菜集出荷場で、「日置すいか」の初出荷に向けた目慣らし会が日置すいか生産出荷部会により行われ、約30人が参加しました。

大玉で甘みが強い「日置すいか」は、約2.6ヘクタールの栽培面積で、露地のトンネル

栽培を中心に着果量を抑えて育てられています。目慣らし会では出荷日を決定するために、部会員が持ち寄ったすいかの糖度と品質の検査を行いました。

日置すいかは8月上旬まで、県内を中心に約1万玉の出荷が見込まれています。



▲どのすいかも糖度は12度から14度と十分

## 旬の味覚に舌鼓

### 仙崎トロあじを学校給食で

6月28日(火)と29日(水)の両日、「仙崎旬宣言」が発令されたばかりの仙崎トロあじが市内の小中学校の学校給食に提供され、児童生徒は旬の魚の美味しさを味わいました。

29日には、中型まき網漁業を営む石村哲也さんが明倫小学校の5年生の教室を訪れ、「アジ」についての特別授業を行いました。児童は実際の魚の様子を映像で見た後、石

村さんからまき網漁法について、漁業で使う3隻の船の役割や漁法など詳しく説明を受けました。

また、この日水揚げされた仙崎トロあじの脂質含有量を目の前で計測。20%を超える数値に児童から驚きの声が上がりました。

給食時には仙崎トロあじの塩焼きが出され、児童は旬の味覚を味わいました。

7月17日(日)、「第12回なごと和太鼓フェスティバル」がルネッサなごとで開催され、市内で活動する和太鼓グループ4団体が出演しました。

三隅清風太鼓・童鼓のほか、事前に行われた和太鼓ワークショップの参加者もステージに登壇し、ワークショップの成果を披露しました。



▲各団体が合同で演奏し、盛り上がったフィナーレ



▲アジ漁についての特別授業も開催



▲仙崎トロあじの塩焼きが学校給食として提供された

## 第12回なごと和太鼓フェスティバル 観客とステージが一体に

# 害虫を追い払い豊作を祈願

7月1日(金)、長門市から下関市まで「サバーサマ」「サネモリサマ」と呼ばれる2体のわら人形を送り継ぐ「サバー送り」が始まり、一行が飯山八幡宮を出発しました。

「サバー送り」は「虫送り」とも呼ばれ、住民がリレー方式で地域外に送り出していくことで、稲の害虫を追い払う

ものです。長さ約2m、高さ約1mのわら人形2体は、虫除けの神事を終えた後、中山区の住民8人によって抱えられ、境川区を経由した後、日置上長崎まで運ばれました。

その後は、各自治会や子ども会などにより、数週間をかけて各地域を送り継ぎ、下関市まで運ばれました。



▲2体のわら人形が飯山八幡宮を出発し、最後は下関市へ

# ペットボトル風車で追い風を

7月13日(水)、旧俵山中学校でペットボトルを使った風車づくり教室が開催され、約30人が参加しました。

ラグビーW杯キャンプの練習会場として予定している俵山地区で機運を盛り上げていくと企画され、郷区在住の関岡勲さんが指導者となり、

ペットボトルや針金ハンガーなどを使ってペットボトル風車の作り方を指導しました。

今後は8月末までに地域住民らの手で約300個の風車を製作。9月下旬には俵山小学校のフェンスに取り付け、キャンプ地招致の啓発につなげていく予定です。



▲関岡さんのアドバイスを聞いて、ペットボトル風車を仕上げる

# 海藻「アカモク」を給食で

市では毎月19日を「ながと食の日」と制定し、地産地消や食育の啓発・普及に取り組んでいます。「ながと食の日」の7月19日(火)、市内で採れたアカモクが公立保育園・幼稚園に給食として提供されました。

アカモクはホンダワラ科の仲間の海藻で、食物繊維やミネラルを多く含み、健康食材として注目を浴びています。

この日、アカモクを提供した(株)EVAHの山田晋太さんが三隅保育園を訪れ、園児たちにアカモクの特徴や効能などについて説明しました。

その後、給食時にはアカモク汁として提供され、園児らはねばねばした食感を味わいながら、美味しそうに食べていました。



▲アカモクの特徴を話す山田さん



▲ねばねば食感を味わう

# 長門のPeople

## 2本のオールで、世界に羽ばたく。

上野翔子さん

(ボート世界選手権 日本代表/東深川出身)



8月21日から28日まで、オランダで開催される「ボート世界選手権」。2本のオールで直線2,000メートルを漕ぐスピードを競う「シングルスカル」の日本代表選手として、東深川出身の上野翔子さんが出場します。

ボートを始めたきっかけは、高校生の時。先生から「ボート部に入ればすぐ全国大会に行けるよ」と声をかけられ、入部を決意したといいます。練習を重ねるにつれ、水面に近く、スピードを直に感じられる魅力と面白

さに引き込まれていきました。

8月のオリンピックには補欠として選出。昨年10月から半年以上にわたる国内選考期間は、常にライバルと競い合い、コーチに評価される日々です。不安定だったといいます。それでも自身の記録を更新するたび、練習の成果や成長できる喜びをかみしめてきました。

世界選手権では「すべての力を出し切って勝負したい」と上野さん。メダル獲得を目標に掲げ、世界の強豪たちに挑みます。



▲直線2,000メートルのスピードを競う「シングルスカル」に出場

# 旬な人

# 薬物乱用のない社会に

7月10日(日)、「ダメ。ゼッタイ。」国際麻薬撲滅ヤングキャンペーンがフジ長門店とウエーブで開催され、高校生ボランティアや山口県薬物乱用防止推進員など約60人が啓発グッズの配布や募金活動を行い、薬物乱用防止を訴えました。



▲街頭で募金活動や啓発活動を実施

# 世界平和への祈りを込めて

7月8日(金)、浜木地区の浄土寺で「平和の鐘を鳴らそうin長門」が開催されました。

平和への思いを鐘の音に乗せて発信しようとの思いから毎年開かれており、今年で10回目となります。参加者らは世界から戦争がなくなり、平和な暮らしになることを願って鐘撞きを行いました。



▲平和への祈りを込めて鐘撞き